第242号 • 2013年10月15日

発行・東北大学職員組合書記局

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1 内線 片平 (91) 5029 022-227-8888 (TEL) 022-227-0671 (FAX)

編集・コア編集委員会



組合への加入を歓迎します

- *消費税増税はやめろ
- TPP参加は反対
- *アベノミクスにだまされるな!

どん 務 葉 で 担 来 多くが留任しまし 合 助 す。 ずったた と組 書 うべきです ならいろいろな方 走 い 期 活 頑のの 記 合の 張り で 付 、け 間 長 動 なし し ٦ 方 時 3 て 執 しで、 10 間期 れ い 行 き 、 、 た ど 逆 委員 ま慣的目 でれ折 で



片山委員長

きです とも 2 ア 編 が 集 前 不委員 期 まずは から 会

引き続 お 二

労 働 ね でしょう? 賃下げ 契 今 期の 約 法 問 重 点 の 題 対 課 ゃ 応 題 改

は

委員長&書記長対談インタビュ

復

てき

た

准

新 法

化 寸

以 体

前

か

時 更

雇

用

員

前

回

ഗ

KAKAKAKAKAKA

組

千葉書記長

ま

で

は、

最

後

に

まさに手弁当

で

す

合費

収

約

など、

新

の職

徴員

たが編 大学当局が方針を示 委:そうだと思います。 多くのパートさんが 安に思っています。 編:労契法については、 と位置づけていま つ ね訴 ていただいて私たちの替わ ませんし。 訟 山 に形 2踏み切りすれ大学では9 て わ いり ま 組

> す。 ます。 減り コアの予算 合 政 に ŧ ŧ 影 大

> > い

進 合

を作っています。 行委員 め 算 ほとん て、 を削 炊き込 会のお |減しま どの 弁 み し 項 (当も た。 目 ഗ 飯

止 執

合の を始 をつ ま きに注目したいです。 引 さ 出 がみか ... す す い 期 課 う ね。 そ め 雇 ない 大学 題 れ し 発 用間 それでは、 なに誠っ かを試っ 元言を理 につ で、 ました。 構成 か 転 い 換 後 5 て 意 事 す 員 法 人 1= 組合 れ を の か 伺 本 る 見 b い組報

組組 織 財拡 大が急な 務

組

発 を み そ 言 増 あ の ればと思います。 いに る人が大勢い 対 ٠. 一力を強 やして、 あり 人たちの げることで、 する意見 未 組 コアも紙面のがとうござい 合 < 交 を 意 10 て渉時 見 ŧ ま持 を つ 法 IJ 仲 す まのい

ます。 め 活 動 て いの き 基 本 い を لح 確 思実 けの間汲

> 委員長 書記長 執行 書記次長 **副委員長** 委員長 委員

田嶋玄 小川智 石川 高橋 京 発 発 類 石川 高橋 千葉裕 半田政子 下山克彦 北村裕子 佐藤史弥 |田賢| 山知

あったかい県政を10/27県知事選投票日

宮城県春闘共闘会議年次総会で、村井県政の冷たい県 政の実態を聞いた。

被災者の医療・介護の負担免除を3月で打ち切った。 全会一致で県議会が請願を採択したにもかかわらずであ る。仮設住宅のプレハブ協会への丸投げは寒さ対策なし、 追い焚き機能なしというお粗末な結果となった。がれき 処理は、自治体自身で行っているところはすでに終わっ ているのに、ゼネコンへ丸投げしたところは進んでいな い。トヨタ誘致に500億円もばらまきながら、宮城の 雇用は全国下から4番目。

こんな冷たい県政とはきっぱりと縁を切り、あったか |い県政を実現させたいものである。(高橋京)

今期 の 執行

域に

根

差し

た取り組

が

示されっ

た。

ポ

イントは

理念とも共

多

くの参

原 発・TPPなど

原市

で開

552人参

第53回宮城県母親大会

6 月 30

日

改憲をや めさせるに は

Т

Ρ

若

な狙

いが

判りやすく

の

本質

まし

特に

安倍首相 解説され

。 最も

実現さ

9

条を含め

た

で感じながら参 する危機 射能や原 で開 市 市 か の 中学生 感 の への問 ま T P P に 強さを し 加 せたい、

構造改革、消費税増税 内閣でどうなる暮ら 渡辺治氏 社会保障、 現政権の目指 の 平 和 J 安

演 通しており、 母親大会の

つのが

印象的

者の共感を呼んでい

人間 代 が大事にされる時

ち加の 溢 者の の女 れ の てい エネルギーで満 参 参 中 加 加 の が多く、 まされ 方の た。 L うたごえ)若々し 特 に 84 元 分

若柳総合体育館

内容だった。 元 ンド よる趣 の 逆向を凝 が沢 演 奏 山 ら 司

体会は、

見えてい

たら

さん

の助

の 容 の を、

言葉の 随分勇気

ഗ

全

ら

こになっ が

ŧ

に

見

え

日

Þ

仕 事

セ

間 が は、 た時代が思い出された。 とても大事にされ、 が目に浮かび、 クサイレンの曲目の 栗原に流れるミュージッ 温かくなる内容で、 姉妹 しい歌声に魅了された。 穂 さん、 子どもの頃の情景 緩やかに流れて のコンサートは からの、 栗原真弓さん 人間 邊 時 が 美

> ح 念 1 を

> > 仲間作りをして乗り

の

だと痛感した。

き合っておられるお

不登校の

お子さんと

の時代 さら、「人間として大 だ後だったので、 今の時代がどんなに き継いでは 切なものが、 ている社 い時代であるか学ん 渡辺治さんの講演で、 を担う人達に 会」を、 け 忘れ去ら ない

思えた。 智子さん (理学部支 遠

厳 引 次 ていた。 第59回日本母親大会(8月24日・25日)

を拒むためのポ

・イント

、保革を超えた共同

戦術が説

明され、

そ

れ

憲法の全面

的

な改憲の

なお 会に新しい風が吹き込 とても新鮮で、 動感あふれるダンスは、 があった。 プホップダンスの披露 は男子高校生によるヒッ れ

Ш 「憲法のいきづく国に 私たちに求め た伊藤 強く

遠山智子さん

会

参加者で熱気にあふれ ていると感じた。 オープニング タイトルで 若者達の躍 人 5 場 た行 行 母親大 られる ŧ 0 事 文 講 0 は ゎ の 7 0 は、 ずっと不登校 おられる方であるとの たちの支援に携 の て関わられ

> の言葉を日々職場に らのメッセージに、

る」という横湯さん 「未来は現在の

中に

幕張メッ 会れが化演 記 場 **|** 1 され、 言があった。横湯さん 横湯園子さん(臨床心 という一人の 理士)を助言者に登校 にする』(不自由だか られた時にスタッフと 院児童精神科病棟に作 いう分科会に参加した。 ら闘っていく)という 年弁護士 か 国初の不登校の子ども 拒否をめぐる様々な発 た。とても心に響いた。 メッセージを伝えられ 学級が国立国府台病 つ 心によりそって」と 二日目は、「子ども 士を目指 た」と話 1969年にわが 『不自由 のお すことは 話を紹っ をされ 全盲の青 1が自由 介 な うと思った。 生かして過ごして行こ あ 毎日だと感じた。 母様たちは、闘いの日々 か か えるにはとても苦し られた。一人で乗り越 越えて行こう"と締め な 向 日 づけられた。

がわって 3子ども その後 T を感じていた私にとっ の言葉が さんの語られるすべて た病院支部の半田 ご一緒させていただい て浸透し心 二日間の企画と共に、 の 職場に 栄養となっ 2軽く |政子 · 疲れ

の

ただいて感謝して ました。 験をさせ 自治として賃金引き

断

形大学職員

研 教育活動に支障

形大学給与返還訴

7 で 聴の払 利て いる実情を訴えました。 つけ、 育活動に支障が出 満席でした。 組合からも応援に まし 人が意見陳述 変更無 原 回 傍聴者は33 *t*= 告団 口頭弁論を傍 生活や研究 「一方的不 を 東北 確 原告団 訴 認 書を 地 て 名 駆 区

の 被 です。 に対応するための 論点になっていること 不存 運営費交付金 経 告 営 ですの 在」 上の たことによ 準 備 が中心 合理 で、 面 性 の で 上記 資 減 で 7 ŧ 産 額

剰余金 計士やか 金(流用資産)も十分 L 在すると判断 か · 弁 護 (積立金) 士は、 原 告 側 も 資 て 利の益会

> れます。 姿勢 るとのこと。 権 全く判断が変わってく に立つかどうか)で、 て 弁 し 間 明 利を守るという立場 い 護 ま 違 を 士は、 が (労働 ま ĺ١ ろ ます ŧ いろな資料の くものと思わ (片山知史) 者の待遇 全く楽観 と思 しか 瀬戸際の 裁判官の 勝 ڔ 訴 つ ゃ

> > 等の発言がありました。

活 は

動

報

告、

協力の

依

頼

なく各諸団体

こからの

対する質疑

討

論

県労連 採2013 秋 運 動 金会計 方針 年末闘争方針 度 会館運営委員 般会計 報告、 並 びに 2013 案2013 年 会

択 年 は ずれ :予算の ŧ 満 年 度 場

いり組み した。 専従という形 IJ 東北大関係 れ替えがありましたが、 す `2013 年度 他数名の れまでと違 は 新 役員の 議

ことで、 関 ŧ 項 今 から 料配 回 する改正 の 労連共済の実施 り下 (**案**) げられ は、

大会では採択事

記 していただけるようで が 新 年度 では千葉書 そも常 でリード 長とな つて 任

ないということから 致で採択されまし 布が当日という 検討する時間 事

か

らの

えがある

合ソニー

支 機

議部

回

闘

争

連

JAL不当

|解雇

して残ることと、

大介さん として金

が 研

参

民 復 ガ 第 加部会 災 することとなりま 回

総括」一般会計報生 「12年度の取り細

告、

ろうで意思統 う!広範な労働者 終了しました。 と生活できる賃金を!」 させよう!良質な雇 発言の後、 との共同を!、 興を!、 者が主体の 「すすめ 定 規大会 新 前進させ 団結頑 議 を図 よう! スロ 復 長 実現 • 旧 ょ ょ I 用 県 IJ

質な雇用 実現を

2013年10月25日

面を提

出

して終了し

代理人が被告準備

被告側の大学

ました。

大学

(福

岡

大学教育

T 大裁判

の

特

徴

は

ケービルにて同 がら午後5時までショー さる9月7 É 大会が 午 前

中

か

体、

代

名 ら 18

中

58 寸

名

の

参

加 議

では文科省から

高エネル

グギー

研

出き、は片山委、 状況は してきま [委員長、 東北大学から 加 盟団 佐藤 が 員 数 71 でした。 の

なっているのに対して、

の

清が

一つの論点に

لح 始 か ま 冒 ら 頭 の は 来賓挨拶 議長発言 北 案 報告、 クリ の か あ

ました

フル参加は久しぶりである。

「男女共同参画」の分科会。やはり男女平等とは 程遠い東北大学であるということを再確認。国内で 初めて女子の学生を受け入れたということを前面に 出し男女共同参画のシンポジウムを行っているが、 教員の比率は相変わらず低い。国大協として、20 10年までに20%を目指していたが、2016年 までに17%と目標を下げた。それでもいい。今度 こそ目標を達してほしい。なにせ今は10%以下な のだから。

全労連の方の講演では、民間と公務労働者が、正 規と非正規労働者が力を合わせて闘おう。大学の先 生方の言動が社会に与える影響は大きい。ぜひ一緒 に頑張って行こうの言葉が心に残った。

事務職員分科会。皆大変な中頑張っている。東北 大学では少数だが全国には素敵な仲間がいる。

10

月

5

号線

の

ア編集委員のちょっとそ

原ジャングルジャングルスキー たいのだが、 50 奥 Ш この季節はキノコを採取 霧雨の 山に続く。 の 口に到着し 紅葉が始まった船 林道終点にある観 穏やかなのぼりな問もなくブナの美 たのは10 合羽を着て歩 ぼりを進 白髪山山頂は霧の中 音寺 美 時 過

山を始めとず、こうながら30分だけ休憩して下しましまりを食べ ながら1 きたブナ林をクマと出会わ 空がやや明るく んでいた。 間弱で登山口に 時折大声 明るくなって なり霧雨

2013年10月15日

クが続くはずだったが、雨天のため全く展望がきか つもりで)気持ちの良い尾根道を歩き、 ことに毒キノコで有名なツキヨダケだった。 分程で粟畑分岐点に到着する。まっすぐ進むと 美味しそうで立派なキノコがあったが、 食用になりそうなのは見つからな 右折して20分も進むと展望の良いピー 山の景色を見ながら(の 山 頂 残念な



天気が良ければ船形山が見える

FILC I

到

多元研支部 千葉 裕輝さん

「北上山地にILCが誘致される(かも?)」と言う話を耳にし ますが、一体何のことなのでしょうか?ILCとは「国際リニアコライ ダー(International Linear Collider)」の頭文字を取ったもので、 中核となる加速器の全長が30km(仙台~松島間位)にもなる装置を使っ て、光速近くまでスピードを上げた電子と陽電子をぶつけあうこと で発生するヒッグス粒子を観測して宇宙誕生の謎を解明する研究等 を行う施設です。加速器を持つ施設は敷地などの問題もあり直線加 速器と円形加速器を組み合わせて構成されているものも多く、大き なものでは三神峯を除く東北大の各キャンパスを囲んだ円周以上の 長さを持つ円形加速器も存在します。ILCは名前の通り直線加速器が 主体として構成されていて、世界最大規模の直線加速器となる予定 です。

以前、原子核理学研究所(現・電子光理学研究センター)を始め、 国内数カ所の放射光施設で実験を手伝ったことがある程度の知識を 基に解説しているので、専門家の先生方から見ると間違った言い回 しをしている部分があると思いますが、「基本部分を判りやすく」 を心がけたという事でご容赦いただければと思います。

Since1949. 10. 29

組合は満64歳に

鉄板焼きde誕生会

11/1(金) 18:30 書記局 差し入れ歓迎!歌もうたおう!

みやぎ教育のつどい

11月9日(土)10日(日) フォレスト仙台

記念講演

作家 熊谷 達也さん 「震災後を生きるということ」

「憲法9条を守り生かす 宮城のつどい」

講師:渡辺 治氏 (一橋大学名誉教授) 11月10日(日)13時~

不来を。 の勝 親大会は未来を語 たな出発です。 記 第新 「ILC」が 形 ま エールを送ります。 知事誕生で宮城 長 新執行委員の皆 し す。 号に、 訴を。県労連 大学給与返還 のビッグ対談 い 宮城と全国 皆さんもトラ 白髪山は コアの手づく よく (タクさん) 委員長 す ば も訴 で

- *10/27(日)知事選投票日
- *10/28(月)憲法学習会「憲法改正ルール」
- *11/01(金)鉄板焼きde組合誕生会
- *11/04(月)慶明丸に行こう
- *11/9-10(日)子どもの未来をひらくみや ぎ教育のつどい
- *11/10(日) 9条を守り生かす宮城のつどい
- *11/15(金)退職者の会「南三陸町への旅」
- *11/30-12/01(日)全大教医大懇